



今月の主な内容

- 財政健全化判断比率
- 地域おこし協力隊 増田隊員
- 湧別町総合計画 実施計画の実績

今月の表紙

げんきの森で遊び隊
ロープで木登りツリーイング体験

財政健全化 判断比率等

財政の健全性を示す指標の公表

町の財政状況がどのような状況にあるのかを判断するため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、毎年度、地方公共団体の財政の健全性を示す指標（健全化判断比率および資金不足比率）を算定し、監査委員の審査を受けたうえで、その意見を付けて議会に報告するとともに、町民の皆さまへ公表することが義務付けられています。

◆健全化判断比率

- 4つの指標があります
 - ①実質赤字比率
 - ②連結実質赤字比率
 - ③実質公債費比率
 - ④将来負担比率
 それぞれに早期健全化基準と財政再生基準があります（④は財政再生基準なし）。
- ①～④のどれか1つでも早期健全化基準以上となると、自主的な改善努力による財政の健全化を図るため、「財政健全化計画」を策定し、外部監査を求めなければいけません。
- ①～③のどれか1つでも財政再生基準以上となると、「財政再生計画」の策定が義務付けられ、地方債の発行が制限されるなど国等の関与による確実な財政の再生が求められます。

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
令和3年度	—	—	7.2%	—
早期健全化基準	14.66%	19.66%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

※実質赤字額または連結実質赤字額がない場合、および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は「—」で表示します。

各指標の説明

①実質赤字比率

福祉、教育、まちづくり等を行う地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すのが「実質赤字比率」です。

この比率が高くなるほど、赤字の解消が難しくなってくるので、より多くの歳出削減対策や歳入の増加策を講じるとともに、解消の期間も長期間にわたる可能性が高くなるなど深刻な事態になっているということになります。

②連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すのが「連結実質赤字比率」です。

この比率が高くなるほど、より多くの歳出削減対策や歳入の増加策を講じなければならなくなり、また、その解消期間も長期間にわたる可能性が高くなります。

③実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すのが「実質公債費比率」です。

この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下し、他の経費を節減しないと赤字団体に転落する可能性が高まるなどの一般会計の資金繰りの危険度を示す指標です。

④将来負担比率

地方公共団体の一般会計の借入金や将来支払っていく可能性がある負担等の現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すのが「将来負担比率」です。

この比率が高い場合、将来こうした負担額を実際に支払っていかなければならないので、今後の財政運営が圧迫されるなど問題が生じる可能性が高いといえます。

⑤資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すのが「資金不足比率」です。

この比率が高くなるほど、料金収入で資金不足を解消するのが難しくなることから、公営企業として経営に問題があることになります。

◆資金不足比率

公営企業会計ごとに算定し、経営健全化基準以上になると、公営企業の経営健全化を図るため、「経営健全化計画」を策定し、外部監査を求めなければいけません。

会計名	⑤資金不足比率 令和3年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
簡易水道事業 特別会計	—	
下水道事業 特別会計	—	

※資金不足額がなく、比率が算定されない場合は「—」で表示します。

湧別町の令和3年度決算における健全化判断比率および資金不足比率は、すべて基準を下回り、町の財政は健全であることを示す結果となりました。

今後も健全な財政状況を維持できるよう適正な財政運営に努めます。

9月末をもって地域おこし協力隊を任期満了となりました。
3年間ありがとうございました。



これまで、ドローンやカメラで撮影した私のお気に入りの風景をご紹介します。



夕焼けのシブノツナイ

オレンジに染まる景色…とまではいきませんが、神秘的です。



流氷

3月中旬に撮影したものです。
多くは遠ざかったものの、海岸に打ち上げられた流氷がゴロゴロありました。



夏の湧別

帰省の際に、飛行機の機内から撮影しました。冬の真っ白な湧別もいいですが、緑と青の景色も絶景です。

憧れだった北海道での生活。やはり想像していたものと現実は違っていたこともありました。楽しいことはもちろん、思い悩んだこともありました。

北海道、オホーツクが好きで、何年も通い詰めていた分、知っているつもりになっていたことや、まだまだ奥が深いと思わされることが山ほどありました。



協力隊として湧別をPRすることが最大のミッションですが、自分の置かれた環境のなかで、まずは町民の皆さんに素晴らしさを知ってもらおうと模索してきました。

3年間でどこまでやれたのか、もっとやれたのではないかなと思うこともありますが、ふるさと館JRYやまわりの皆さんの協力もあり、3年間活動することができたと思います。

冬の生活に慣れず、手探りの中の除雪で、垂直に壁を作ってしまった1年目。ご近所さんを見習い、教わりながら、段々とママさんダンプ（スノーダンプ）を使用した上手な除雪の方法が分かってきました。

3年目には、「除雪上手になったね」「いつもきれいにしているね」と声をかけていただき、とても嬉しかったです。

最後になりますが、町民の皆さんにはあちこちで声をかけていただき、いろいろなことを教えていただきました。本当にありがとうございました。



8/
23~26

上手に泳げるようになったよ ジュニアスイミングスクール

湧別プールで小学生を対象にジュニアスイミングスクールが行われました。

これは、水に触れ合ってもらい楽しく泳いでもらおうと教育委員会が主催したもので、トッカリ湧波会の指導のもと、潜れない子、潜れる子、泳げる子の3つのグループに分かれ、それぞれの目標に向かって一生懸命練習しました。

参加した子どもたちは、「潜れるようになった。」「まっすぐ泳げた。」など、上達を実感していました。

8月23日(火)~26日(金)の4日間実施



トッカリ湧波会の野口先生、藤田先生に指導していただきました

8/
26

笑いの渦に包まれる 清水ミチコ「トーク&ライブ」

清水ミチコさんのトーク&ライブショーが開催され、会場に詰め掛けたおよそ360人の観客は笑いの渦に包まれました。

芸術文化公演を招へいする町民団体「良いもの見よう聞こう会」(川村寿光 会長)が企画したもので、清水ミチコさんは軽快なトークを交えながらピアノの弾き語りモノマネなどを披露しました。

観客は、本物と聞き間違えそうになるほどそっくりなのに、どこかがおかしくて笑ってしまう清水さんの世界に引き込まれ、終始笑いが絶えませんでした。

文化センターさざ波



会場に詰め掛けた大勢の観客で大いに盛り上がりました

9/
1

楽しく学んで災害に備えよう 中湧別小学校で1日防災学校

中湧別小学校で網走地方気象台や北海道電力ネットワーク㈱、役場職員による防災の授業が行われ、全校児童約90人が地震などの自然災害について学びました。

これは、自然災害の怖さや災害発生時の対応について学習しようと毎年行われているもので、「防災かるた」や「コミュニケーションロボット」による天気予報や防災クイズのほか、災害発生時の電気の取り扱いの注意点や給電方法について学びました。

子どもたちは楽しみながら防災に対する知識・意識を向上することができる一日となったようでした。

「防災の日」となる9月1日(木)に「1日防災学校」を開催



電気自動車を利用した給電方法を学びました

9/
4

上手にバランスをとって乗れたかな? スラックライン教室

北海道スラックライン代表の山森和也さんを講師に迎えたスラックライン教室が開催され、町内の小学生など30人あまりが参加しました。

教室では、講師が歩き方や姿勢などを丁寧に教えてくれ、多くの参加者が初めてにも関わらずみるみる上達し、支えがなくても何歩か歩けるようになる子もいました。

参加した子どもたちは、「バランスをとるのが難しかったけれど歩いて楽しかった。」と良い経験になったようでした。

中湧別総合体育館



スポーツ指導者向けの講座も併せて行われました



9/6文化センター TOM、9/7文化センターさざ波



75歳以上の町民1,862人のうち、2日間で247人が出席しました

9/
6・7

いつまでも元気でいてね

3年ぶりに敬老会が開催されました

3年ぶりに開催された敬老会では、町の発展にご尽力いただいた感謝と長寿のお祝いの言葉が刈田町長と村田議長から贈られたほか、米寿の方には刈田町長より感謝状と敬老祝金が一一人ひとりに贈呈されました。

お楽しみのアトラクションでは、認定こども園による子どもたちの元気な歌声やダンスに笑顔がこぼれ、徳原海さんとオホーツク太郎さんによる歌謡ショーでは、迫力ある歌と軽快なトークに大いに盛り上がり、盛会のうちに閉会しました。

文化センターさざ波



町内の小学校・義務教育学校の児童を対象に開催

9/
8

迫力ある演技を楽しむ

児童芸術鑑賞会でミュージカルを鑑賞

教育委員会の主催による児童芸術鑑賞会が開催され、劇団ポプラによるミュージカル「海底2万マイル」が上演されました。

プロジェクションマッピングによる映像と音楽、ミュージカルならではの軽やかなダンス、迫力のある歌と演技に加え、人と人との争いや環境問題を考えさせられる内容で子どもたちは食い入るように鑑賞していました。

鑑賞した児童は、「戦争と環境のことを考えさせられた。ごみを捨てない、相手のことを考えるなど、できることをこれからも気を付けたい。」と話していました。

文化センターTOM



刈田町長から安瀬委員長へ「湧別町自治基本条例の見直しについて」の諮問書が手渡されました

9/
8

住民主役のまちづくりをめざして

第3期 第1回自治推進委員会が開催されました

第3期の湧別町自治基本条例見直しに関する自治推進委員会が開催されました。

この日は、刈田町長から各委員へ委嘱状が交付された後、正副委員長が選出され、刈田町長から安瀬勇委員長へ諮問書が手渡されました。

会議では、会議の運営方法や会議の公開、会議録作成方法の確認・決定、湧別町自治基本条例の概要について説明がありました。

委員の委嘱期間は3年間で、期間中に自治基本条例を実効性のあるものにしていくため、自治基本条例に基づく制度および条例の運用状況について審議を行い、議会や町などに意見を述べていただきます。

委員会の開催は、役場庁舎と文化センターTOMの掲示板に掲示するほか、町のホームページにも掲載します。町民の皆さんは、ぜひ傍聴してください。

委員会の様子は、広報ゆうべつやホームページを通じて、お知らせします。

◆自治推進委員 15人

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・安瀬 勇さん (上湧別屯田市街地) | ・松下久美子さん (港町) |
| ・松浦 健治さん (北兵村三区) | ・本間 雅人さん (登栄床) |
| ・平野 寿雄さん (上湧別屯田市街地) | ・斉藤 恵さん (北兵村一区) |
| ・鈴木由美子さん (栄町) | ・遠藤 道代さん (栄町) |
| ・山口 勇さん (登栄床) | ・工藤 大輔さん (上湧別屯田市街地) |
| ・花木 寿栄さん (南兵村三区) | ・平形 康浩さん (登栄床) |
| ・佐藤 茂さん (信部内) | ・三品 義和さん (南兵村一区) |
| ・中原 秋美さん (川西) | |



9/10

安全運転を呼び掛ける

道の駅「愛ランド湧別」でセーフティーコール

国道238号の事故防止を呼び掛けるため、同国道を管轄する興部・紋別・遠軽の警察署の3署合同で8カ所同時に実施されました。

愛ランド湧別には、遠軽警察署、遠軽地区交通安全協会湧別支部、交通安全指導員、自治会長が参加し、交通安全の旗を振り通行車両に交通安全を呼びかけました。

啓発用物品を受け取った道外から来た旅行者は、「北海道は広いので、時間にゆとりをもって、安全運転を心がけて旅行します。」と話していました。

道外の旅行者なども通過し
交通量が多い国道238号で実施



道内で拡大する特殊詐欺への注意も併せて呼びかけました

9/11

木に触れ合い、楽しむ1日

げんきの森で遊び隊を開催

森林や木材に親しんでもらおうと湧別町げんきの森活動委員会（本田勝樹 委員長）が主催したもので、知床山考舎（斜里町）などを講師に迎えロープを使った木登り「ツリーイング」や木を削って作る「箸づくり」を体験しました。

ツリーイング体験では、普段体験することができない景色と達成感に子どもたちは歓声をあげ、箸づくりでは、自分好みのMy箸を完成させ喜んでいました。

参加した子どもたちは、満足した表情を浮かべ木に触れ合い楽しい時間を過ごしたようでした。

道の駅「愛ランド湧別」に隣接するいこいの森（志撫子）



コツをつかむとロープを掛けた頂上までグングン登っていました

9/11

青空の下でのんびりリフレッシュ

秋のほっこりマルシェ「あきまる。」

雑貨店などが集まった「あきまる。」が、かみゆうべつチューリップ公園で開催されました。

「あきまる。実行委員会（木下泉 代表）」が主催したもので、アクセサリーやベビー用品などを扱うショップやカレーなどの食べ物を提供するショップ、キッチンカーも集まり町内外から多くの方が詰めかけました。

参加した方からは「ショップがいっぱいあり、屋外で開放的でコロナも気にせずゆっくり楽しめた。」と話し、楽しい時間を過ごせたようでした。

かみゆうべつチューリップ公園



青空の下、全道各地から約40店舗が集まりました

9/16

身近な自然環境を知ろう

上湧別中3年生が湧別川の環境を学習

地域の豊かな自然に触れることで身近な自然環境のことをもっと知ってもらおうと行われたもので、ゆうべつアウトドアクラブYUPALの絹張洋史会長を講師に招き、湧別川に入り、川の環境を学びました。

水生生物を観察・捕獲したほか、試薬を使い川の状態を調査。たくさんの生物を観察することができ、試薬の測定数値からも水質が良いことが確認できました。

生徒たちは「湧別川は汚れていると思っていたので、生物がたくさんいて驚いた。きれいな川を維持していきたい。」と話し、自然環境に興味を持った様子でした。

湧別川（開盛 頭首工）



箱眼鏡や網を使い水生生物を観察・捕獲しました